

## 診療技術部門新人教育プログラム

### A. 初年度カリキュラム

4月1日採用時に約一週間の新入職員研修があります。全職種共通ですが診療技術部門はそのうち2日間参加していただきます。

#### 1. 新入職員研修2日間の主な内容（診療技術部門）

新入職員研修（診療技術部門）共通	
医療安全、感染対策の初期講習（全職種共通）	医療安全管理室、感染対策室の専従スタッフからインシデント、アクシデント発生時の対応や感染性廃棄物の取り扱い、針刺し事故時の対応などの講義を受けます。
患者の急変対応（診療部各科室共通）	患者急変時の応急処置、応援スタッフの要請などの実習を受けます。
電子カルテの操作説明（診療部各科室共通）	電子カルテの基本操作と各科室独自のシステムの操作をシステムエンジニアから説明してもらいます。

#### 2. 各科室の基本業務の習得

初年度の約半年間から1年間かけて一人で当直業務ができるように実際業務の修練に努めてもらいます。

臨床工学科教育プログラム（初年度）	
期間	内容
4月上旬	新入職員研修（2日程度）
4月～6月（隔週）	透析業務（ベーシック）
4月～6月（隔週）	心臓カテーテル業務（ベーシック）
7月～	ME 機器管理
7月～	透析業務（ベーシック～アドバンス）
7月～	心臓カテーテル業務（ベーシック～アドバンス）
7月～	特殊血液浄化業務
7月～	モービルCCU業務
10月～	待機業務開始
10月～	外来ペースメーカー関連業務
10月～	在宅呼吸器関連業務
10月～	救急室業務
10月～	OP室機器管理業務
1月～4月	当直業務開始
3月	人工心肺業務もしくは消化器内視鏡業務など特殊専門業務の選定

## 3. 臨床研究、業績作りの教育

研究テーマの立案、患者データの分析、個人情報保護などについて院内・院外講師の指導を受けます。

4. 各科室において臨床研究や各種研究会での発表に向けていろいろな研鑽を積んでもらいます。尚、初年度期末の成果発表会で新入職者の1年間の業務報告を発表してもらいます。(各科室共通)

## B. 2年度以降の研修のカリキュラム（各科室）

初年度研修終了後各科室で複数の業務をローテーションしたり、特定の専門業務の習得に努めてもらいます。

2年次以降	
4月以降	特殊専門業務への従事

## C. 各専門領域での認定資格の取得やリーダー研修などのプログラム（診療部共通）

施設認定や診療報酬加算に必要な資格などは病院全体で必要な人数などを検討し、個人の希望も考慮し取得に向けた計画を立てます。また各職種の学会などで主催する研修会や国家公務員共済組合連合会が行う研修会にも参加する機会があります。

認定資格の種類	認定機関	取得人数
透析技術認定士	透析療法合同専門委員会	2名
不整脈治療専門臨床工学技士	日本臨床工学技士会	2名
体外循環技術認定士	人工臓器学会	3名
	日本胸部外科学会	
	日本体外循環技術医学会	
	日本心臓血管外科学会	
3学会合同呼吸療法認定士	日本胸部外科学会	3名
	日本呼吸器学会	
	日本麻酔科学会	
臨床ME専門認定士	日本生体医工学会	1名
	日本医療機器学会	
消化器内視鏡技師	日本消化器内視鏡学会	4名
医療機器情報コミュニケーター	日本医療機器学会	1名
医療情報技師	日本医療情報学会医療情報技師育成部会	1名
心血管インターベンション技師	日本心血管インターベンション治療学会	2名
心電図検定1級	日本不整脈心電学会	2名
上級CPAP療法士	日本睡眠総合検診協会	1名

## D. 学会活動の支援

- ・ 学術集会への参加
- ・ 研究会等での発表や論文作成指導
- ・ 臨床研究の基礎的な指導

## 発表演題

演題名	学会・研究会名	年度
CPAP マスクのマグネットが植込み型ペースメーカーに干渉した一例	第34回日本臨床工学会 フェニックス・プラザ（福井県）	24
ペースメーカー遠隔モニタリング一元管理システム「ORFICE」の導入で考える病院DXへの期待	第73回共済医学会 パシフィコ横浜（横浜市）	24
CPAP で目指す良い明日へ出会う	SAS の地域連携を考える会 枚方市総合文化芸術センター（枚方市）	24
高齢で発症した Platypnea-Orthodeoxia syndrome の一症例	第49回日本体外循環技術医学会大会 アートホテル旭川（北海道旭川市）	24
①Prisma は CPAP 界の第三勢力になれるのか！？ ②PulseAid の使用経験	第35回日本臨床工学技士会	25
眠れないと夏とまれない SAS	第14回北河内心疾患多職種勉強会	25
Lord (ROAD) of PulseAid	第35回日本呼吸器・ケアリハビリテーション学会学術集会	25
Prisma でグッスリ、スッキリ CPAP	第23回大阪病院学会	25